

# 図書館forum

附属図書館

# fLibrary forum

教育にショートケーキを..... 1	《後輩への推薦書》—大学院生から学部学生へ—
思考錯誤？試行錯誤..... 4	●後輩に勧めるこの一冊
本学附属図書館所蔵、橘曙鶯の短冊..... 5	—藤原定家「文集百首」の比較文学的研究—..... 14
電子ジャーナルの安定的提供に向けて..... 7	●本で「心の豊かさ」を養う..... 15
《この本をお勧めします》	●おすすめの本：ベストパートナーになるために..... 17
●たまには寝たきりになるのもいいものだ..... 10	《図書館員の声》
●「ゲノム・生命・いのちを考えてみよう」	●図書館の思い出..... 18
—ふたりの女性生命科学者、「桂子」博士の生き方を通して—..... 11	●図書館に行こう ～本を探そう～..... 19
●もう一度「ゼロから学ぶ」ための本..... 13	《お知らせ》..... 22



## 教育にショートケーキを

小倉久和

ショートケーキは皆さんをご存知でしょう。あの、三角に切った、甘いカステラ風ケーキの上に生クリームが厚く塗られていて、イチゴが乗っているやつです。もちろん、生クリームが甘いムースやチョコレートになったり、ベースのスポンジケーキの代わりにタルト様のもう少し重い生地を使ったものやイチゴの代わりにキウイなど、ケーキ屋さんやデパートの地下に行くといろいろなものがあります。私はどちらかと言えばアルコール類が好きなのですが、しかし結構左党でもあり、いわば両刀使いで、ショートケーキの好きなカミサン(「山の神」のことですが、学生諸氏にも分りますね?)に付き合っただけのお相手もします。先日、カミサンとショートケーキを食べているとき「何で『ショートケーキ』というの?」という話題になりました。

知っている人もいるでしょうが、私は全く知らなかったのので、辞書を調べました。日本を代表する広辞苑にはこうあります。「洋菓子の一種。スポンジケーキを台として、それを重ねた間や上に、クリーム・果実などをのせたもの。」ついでにマイペディアを見てみましょう。「洋生菓子の一種。大型に焼いたケーキを小片に切り分けたものを総称。一般に円形・方形等に焼いたスポンジケーキを切り、生クリームや果実をはさみ、上や側面を飾る。イチゴのショートケーキが代表的。」どちらも同じ様な記述ですが、何で「ショートケーキ」という名前なのかは分かりません。そこで、研究社の英和辞典で shortcake を引くと「1《米》ショートケーキ ★【解説】通例 biscuit とよばれるパンの間にイチゴなどをはさみ、上にクリームをのせたケー

キ; 日本のもとは異なる》. 2《英》⇒ shortbread.」とあり、shortbreadにはバタークッキーとあります。こうなれば本場の辞書を見るしかありません。手元の Merriam-Webster を見てみました。「1 : a cake rich in shortening; specifically : a crisp and often unsweetened biscuit, cookie, or teacake with the texture of pastry」これによると、ショートケーキはshorteningをたくさん使ったケーキのことを言うようです。これでやっとショートケーキの語源が分りました。続いて「2 a : a dessert made of very short baking-powder-biscuit dough typically cooked in a large cake and served hot after being split, buttered, and spread with sweetened especially fresh fruit (as strawberries or peaches) b : a sweet but not necessarily short cake spread with fruit and served cold」とありますから、ショートケーキは大きく焼いて熱いうちに小さく切ってデザートにするのですね。bの部分には、果物が乗っていて甘ければショートケーキでなくてもいいし、冷やして食べるのもある、とありますが、これは日本のものに近い感じがしますね。さらに、「3 : a luncheon dish consisting of a rich biscuit split and covered with a meat mixture (as of chicken) shortcake」とありますが、これは私には想像付きません。ついでに shortening は、もちろん第一義は shorten: 短くするですが、ここでは小麦粉の生地が粘りを持つを防ぐために混ぜるラードなどの脂を指し、バターなども使われるそうです。生地がもろく砕けやすくなりサクサクしたものになります。い

までは、動植物の油脂を主原料としてガスを混入してつくった可塑剤をさします。以上、長々と書きましたが、ひとことで言うと、日本のショートケーキをイメージして欧米でショートケーキを探すと見つからない、ということですね。

日本で最初にショートケーキを作った人が誰なのか、私は全く知りません。今のショートケーキには当初の「ショート」の意味が失われています。だから日本のショートケーキは本物ではない、というつもりは全くありません。むしろ逆です。出発点と到着点が全く異なってもいいではないか、と思っています。日本のショートケーキは米国のショートケーキに起源をもっているかも知れませんが、同じである必要はありません。少々強引かも知れませんが、私は、これは教育も同じだと思っています。大学で、用意されたコースに従って設定された人材として卒業する、というのも重要ですが、そうでない出口もある、そういう多様性を許容し多様な人材を育むのが教育の本質ではないか、ということです。

私は工学部に所属する教員です。福井大学の工学部は、中堅技術者養成を目標としているといわれます。私もそう思います。しかし、すべての学生が入学するときに工業技術者になることが運命付けられていて、技術者として卒業する必要がある、というわけではないと思うのです。JABEE(日本技術者教育認定機構)という組織が、大学教育のアウトカムズ評価をします。つまり大学の「生産品」たる卒業生の「品質」を保証するための制度です。本工学部でも、すでにそのための準備が進められており、私もそれに取り組んでいます。しかし、ときどき疑問も湧きます。人間の才能は多様ですから、入学したときは工業技術者になるつもりだったが途中で興味が変わってしまって、芸術分野に転向することもあるでしょう。もちろんその転向が成功するとは限りませんが、やり直しの機会をも提

供するのが教育でしょう。工学知識の豊富な営業マンがいてもいいし、数学の得意な文筆家、コンピュータプログラミングの得意なデザイナー、……。二本足や三本足の活動才能は、最初から持っている人もいるかも知れませんが、大部分の人にとっては結果としてそうなったことが多いと思います。JABEEを拘り定規に適用すると、工学部出身者の才能と進路を限ってしまうような気がします。多様な進路も可能にするのが教育だと思うからです。

AO入試や編入試などで学力的にも性格的にも多様な学生諸君が入学してきます。M君は私の研究室で卒業論文を書いて昨年卒業しました。彼は工業高校からAO入試で入学してきた学生でした。数学も力学も英語も、ほとんどの科目は苦手な、卒研に至るまでの3年間の学業は大変だったようです。ギリギリの成績でギリギリの単位取得で卒業しました。しかし、大学へ入るまではほとんど経験がなかったようですが、彼はプログラミングが好きで講義や演習と関係なく自分で勉強しながらいろいろやっていたそうです。それともう一つ、作文が好きでした。3年生のとき、ある企業が公募した学生対象の全国規模の論文コンテストに応募し、残念ながら入選は逃しましたが佳作をとりました。卒業研究では、彼はこの2つの能力を活かし、目覚ましい活躍をしてくれました。卒業時にはある学会の支部から優秀学生賞の表彰を受けました。プログラミングと作文は、一見かなり異質な才能ですが、しかし、論理的に構成する、という点では大きな共通点があります。彼は、工学系からはめったに行かない大手のY社に、早くから内定を得ました。一昨年の秋に開催された全学の三年次向けの就職ガイダンスで、彼は講師を依頼されて講演しました。その時の話が大変良かったと、後で担当の職員の人からおほめの言葉をもらい、私が嬉しくなりました。さらにこれには続きがあり

ます。そのガイダンスに出席していた教育地域科学部の3年次の女子学生が「もう少し話を聞きたい」と研究室へ面談に来たそうです。そして、昨秋の就職ガイダンスでは、今度はその彼女が講師となって講演したそうです。「昨年ここで私も話を聞き、Y社に内定した工学部の方がとても良い話をしてくれた。詳しく話を聞きたくなって本人に会ったら、男性の多い職場や倍率の高さに不安ばかりだった私に、自分の可能性を自分で決めてはいかん！と言われた。やる気と前向きさだけは面接でも誰にも負けずにやったら、受かった。」そして、彼女の話も大変良かったとの評でした。ウーン、こんな話はわれわれ教員が話すよりよほど説得力がありますね。彼の秘めたる才能がここにもありました。

Xさんは中国からやって来た博士後期課程の女性留学生でした。中国の大学では機械系の分野の専攻で、福井大学に留学してから情報科学系の分野に転向したため、大変な苦勞を経験し、人にいえないくらいの努力をされたようです。後で聞くと、在学中はあきらめて帰国しようと思ったことが何度もあったと言っていました。博士後期課程修了後、偶然でしたがある高等教育機関に職を得ました。こういう職をすぐに得るのは一般にはかなり難しいので初めのうちは幸運だと思っていましたが、何年か経つと状況は容易なものではないことが分かってきました。日本の高等教育機

関は、欧米に比較すると、男性優位でかつ外国人教員が極めて少ないのです。しかも彼女は分野を転向していますから、業績は多くなくまた情報関係の技術も高くはなかったので、その教育機関では昇任の機会がほとんど閉じられていたのです。しかし、彼女はめげることなく、研究を続け、技術を研ぎ、学生を指導し（学生には人気があったようです）、学会で発表し、国際会議にもでかけ、論文を投稿してきました。「教え子に教えられる」というのはわれわれ教員の特権みたいなものですが、私は彼女のその姿勢から多くのことを教えられました。その彼女が、何重ものハンディキャップを押して、この度昇任するチャンスをつかんだという連絡がありました。この報を、私は自分のこと以上に喜んでいました。

これらは私の個人的な経験ですが、しかし、それほど特殊な経験でもないと思います。教育は、多様な可能性のきっかけを作るに過ぎない。もちろん教育の目標に沿って進んでいって活躍できればよいが、それ以外の様々な可能性も育む必要がある。それが、人類・社会の発展につながるし、文化となるのではないか。教育を単なる投資対象にしてしまうことは、このような多様な可能性を摘んでしまう可能性があるのではないか、……。こんなことを、ショートケーキを食べながらお茶を飲んでいるときに考えました。

（おぐら・ひさかず 附属図書館長）



## 思考錯誤？ 試行錯誤

村松 郁延

朝、眼が覚めると、30分ぐらいそのまま布団のなかにいることにしている。夢見心地でいろいろなことに思いを巡らすことができるからだ。その日その日で浮かんでくる内容は異なるが、大体は研究のことである。思いもよらないアイデアが浮かんで、研究が発展した経験がある。3-4年前に偶然新しい実験手法が浮かび、10年以上も辻褄が合わなかったことを証明することができた。今では、その実験手技は、教室の中心になっている。他の心配事や関心事がないと、研究のことだけを考えればよいので、至福の時間帯といえる。しかし、最近はいろいろなことを思い浮かべるようになった。

昨年、大学は法人化された。それに伴い、大学には経済的に自立することが求められている。今まで、税金を使うことしか考えてこなかったわれわれ研究者や事務職員が、大学の運営だけでなく、経営をも任されたわけだ。大変なことだ。全員が戸惑い、試行錯誤の状態が続いている。また、法人化されても完全に独立できたわけではなく、むしろ縛りは強くなったような気がする。運営費交付金の削減と中期目標達成のため、研究者が研究屋や事務屋になって、会議や事務的報告書の作成に翻弄されている。これは、思考錯誤か？

大学の使命は、教育と研究だ。一般に経営が行き詰ると、真っ先に被害をこうむるのは文化の分野だ。まさか大学は、と思っていたが、例外ではなかった。本学の講座費は、16年度半減した。授業に必要なプリントさえできない教室も出始めている。最低限、教育・

研究にかかる費用は何とか確保したいものだ。幸い17年度は、大学側の配慮で電子ジャーナル関連経費の共通経費化が決まったが、その経費は年々かさむことにより、いつまで大学が負担できるかわからない状況だ。電子ジャーナル以外の図書館資料はもっと悲惨だ。冊子の購入は激減し、図書館に行っても目的の研究雑誌の新着版を読むことができなくなってきている。16年度の教員の月平均入館者数は、文京で約150人、松岡で約860人だった。ちなみに学生の入館数は、文京で月平均11,550人、松岡で10,800人と多い。これを学生の数で割ると、文京では1人の学生が月2-3回、松岡では1人が月10回、図書館を利用したことになる。図書館は、新しい情報入手する場としてだけでなく、勉強するところともなっている。教員が図書館に足を運ぶ必要がなくなった理由として、図書館の電子化と情報の共有化が挙げられる。新着本の配架を図書館に一本化できないのも問題であろう。情報収集の変化とともに、図書館の変革も求められている。これには、図書館だけでは無理で、全学的見地からの機構の見直しも必要であろう。予算削減の中、図書館をどう位置づけていくか、真剣に思考すべき時にきている。

今朝、夢見心地ですばらしいことを思いついた。新しい発想だ。しかし、思い出すことができない。こんな時は、大体、もう一度寝てしまった時である。残念！

（むらまつ・いくのぶ 医学図書館長）

## 本学附属図書館所蔵、橘曙覧の短冊

### 膽 吹 覚

橘曙覧は、江戸時代末期に活躍した歌人である。曙覧は文化9年(1812)5月に、越前国福井城下の石場町(現在の福井市つくも1丁目)の筆墨商、正玄五郎右衛門の次男(嫡男)として出生。その後、家業を異母弟に譲り、天保15年(1844)8月に、飛騨高山の国学者、田中大秀に入門。大秀は本居宣長の門人である。弘化3年(1846)、曙覧は正玄家の裏にある足羽山中腹に移り住み、黄金舎と称する。その2年後の嘉永2年(1848)には、三橋町に転居し、その家を藁家と称した。曙覧はその藁屋で多くの歌を詠み、また門弟たちに歌文の指導を行なった。元治2年(1865)2月、福井藩主松平春嶽より志濃夫廼舎の号を賜り、出仕を勧められるが辞退。慶応4年(1866)8月28日没。享年57歳であった。著作に『志濃夫廼舎集』『藁屋詠草』『柿の薫』などがある。なお、曙覧の本姓は、前述のとおり正玄であるが、曙覧の正玄家が井出左大臣橘諸兄を先祖とすることに拠り、橘と改姓。また、初めは名を尚事といったが、こちらも後に、姓の橘に因んで曙覧(朱実〔朱い実])と改めている。

右の写真は、本学図書館が所蔵する橘曙覧自筆の短冊である。本館が所蔵する曙覧自筆の短冊は、この1点のみである。なお、本館には、この短冊以外に、曙覧作の「日本建国之吟」と題する漢詩一篇が表装されて所蔵されている。この漢詩については、既に前川幸雄・前川正名・水島直文著「橘曙覧作「日本建国之吟」考」(『福井大学教育地域科学部紀要 第1部 人文科学(国文学・国語学・中国学編)』第52号, 2001年12月刊)の研究があるので、そちらをご覧ください。



橘曙覧の短冊

本館所蔵の曙覧自筆の短冊は、縦36cm、横6cm。虫損はないが、その表面下部の一部に

かなり摩滅、或いは剥離した箇所があり、保存状態は決して良好とはいえない。

短冊の裏面には、下記の3種類の印記が認められる。

- ①「福井縣／師範學校／圖書館」(方形朱印)
- ②「福井大學／圖書館」(方形朱印)
- ③「郷土資料」(方形藍印)

また、福井県福井師範学校の蔵書ラベル「原法第98号」も貼付されている。これらのことから、この短冊が、かつては福井県福井師範学校附属図書館に所蔵され、その後、国立福井大学附属図書館に移管されて、現在に至っていることが知られる。

短冊の表面には、次の和歌1首と曙覧の署名が記されている。(原文は縦書き)

白

くろむよはつひにあらしなしら玉の  
うるはし玉はくりすれとも 曙覧

この和歌は、しかし、水島直文・橋本政宣編注『橘曙覧全歌集』(岩波文庫・1999年7月刊)収録「橘曙覧拾遺歌」(1050番歌)に既に翻刻されて掲載されており、その本文の表記(仮名と漢字)も同じである。つまり、本稿で紹介している短冊和歌は、すでに世に知られている作品なのである。『橘曙覧全歌集』(岩波文庫)は、その1050番歌の出典を『橘曙覧翁遺墨展覧会出品目録』(福井市立図書館・昭和7年11月刊)としている。しかし、この目録は、現在、福井市立図書館には所蔵されておらず、本稿で紹介している曙覧の短冊と『橘曙覧翁遺墨展覧会出品目録』収録の「くろむよは」の短冊とが同一のものであるか否かは、現在のところ確認がとれていない。また、この短冊の制作時期も現在のところ、私には不明である。

「くろむよは」の1首の大意を『橘曙覧全歌集』の脚注を参照して現代語訳すると、およそ次の如くであろう。すなわち――

何とか暮らしが立つ程度の世の中は、死ぬ

まで訪れないだろう。白く麗しい玉が、たとえ水中の黒い土になったところで。

曙覧の生活は、決して楽ではなかったようである。その苦しい生活ぶりを詠んだ歌を『志濃夫廼舎歌集』より、2首挙げてみる。

かくて一月二月ばかりは、こまやかに  
しるしもてゆきけるが、あまりわづらは  
しさにおこたりざまになりたり、  
さて思ふに、おのがさがよ、いかにも  
てつなほさんにも、かかることは、  
えたふまじきなりけり、よしや今はよ  
くもあしくも、おのが心のむきにこそ、  
とどちたる物もかたへにうちやりて、  
夕煙今日はけふのみたてておけ

明日の薪はあす採りてこむ(No.37)

煙草買ふ銭無かりし時  
けぶり艸それだに煙立てかねて  
なぐさめわぶる窓のつれづれ(No.92)

曙覧はその苦しい生活を嘆いた和歌をいくつか作っているが、それらには絶望や悲哀の色は薄く、むしろ明日への活力や清貧を楽しむゆとりやユーモアに満ちた作品が多い。本稿で紹介した「くろむよは」の1首も一見すると、未来永劫救われぬであろう生活苦を嘆いた作品と解釈できるが、その初句で「くろむ(黒む・暮らしが立つ)」と起こし、そこから色彩的に対照的な位置関係にある「しら玉(白玉)」を導き出し、さらに結句で「くり(涅・水中の黒い土)」を用いているあたりは、一種の色彩的な言葉遊びの様相を呈しているともいえるだろう。そこに曙覧の和歌もつ文学的な「楽しみ」を看取することができるのではなかろうか。

橘曙覧に関する資料(著書や短冊や詠草など)は、現在、橘曙覧記念文学館で所蔵・展示されており、一般に公開されている。

(いぶき・さとる 留学生センター講師)

## 電子ジャーナルの安定的提供に向けて

西山 常清

### 1. はじめに

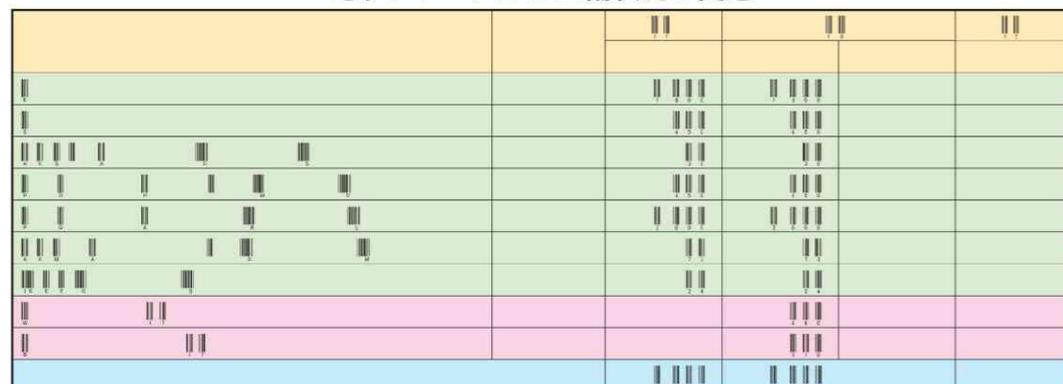
国立大学にとって平成14年度は、「電子ジャーナル元年」といわれています。この年度に文部科学省から、科学技術基本計画における重点4分野の一つとして「少子高齢化社会における疾病の予防・治療や食料問題の解決に寄与するライフサイエンス分野」として、医学系、理学系又は農学系の部局を有する62大学に、この分野の電子ジャーナルを体系的に導入するための経費が措置されました。(旧福井医科大学が該当します。)

また、ライフサイエンス分野に限らず、電子ジャーナル化が急速に進展していること、電子ジャーナルの利用状況は大学や利用者ごとに大きな格差が生じていることなどから、

上記以外の37大学に対しても電子ジャーナルの円滑な導入を図れるよう、この年度に限定して試験的に電子ジャーナル導入経費が措置されました。(旧福井大学が該当します。)さらに、平成15年度には情報通信、ナノテクノロジーの2分野、平成16年度には重点4分野で唯一残された環境分野まで拡充されました。

統合前(平成15年度)の旧福井大学及び旧福井医科大学の電子ジャーナルの整備状況は、この電子ジャーナル経費を基として両大学の特色を生かしつつ独自に導入を進め、(表)のとおり整備し、平成15年10月の統合、平成16年4月の法人化を経て平成16年度に引き継がれることになりました。

電子ジャーナルの整備状況の変遷



平成17年度の利用は、全キャンパスで可能

### 2. 平成16年度の電子ジャーナル整備

本学の電子ジャーナルは、平成16年度には約6,000タイトルを提供するまでにいたりましたが、電子ジャーナルを契約・提供するための予算状況は、外国雑誌の価格高騰と法

人化後の学内予算削減のために、非常に厳しい状況となりました。統合後の図書館にとって、平成16年度以降の電子ジャーナル経費負担の在り方をどうするかは、非常に大きな課題でした。また、平成16年度の電子ジャーナ

ルの整備は平成15年度契約条件の制約を受け、キャンパスによっては利用できない電子ジャーナルが生じたことも課題として残りました。

経費負担の在り方については、図書館では、統合後の第1回附属図書館運営委員会(平成15年12月開催)で了承された「電子ジャーナル・学術文献データベースの整備基本方針」に基づき、平成16年度以降の電子ジャーナルの安定的提供を図るため、財源の共通経費化を目指すべく学内の各方面に働きかけました。しかし、電子ジャーナルの経費については、受益者負担の方針の基に法人化委員会・財務会計制度小委員会から平成16年度予算案が提示され、結果的には、電子ジャーナル及び外国雑誌の経費については次のとおり対応することとなりました。

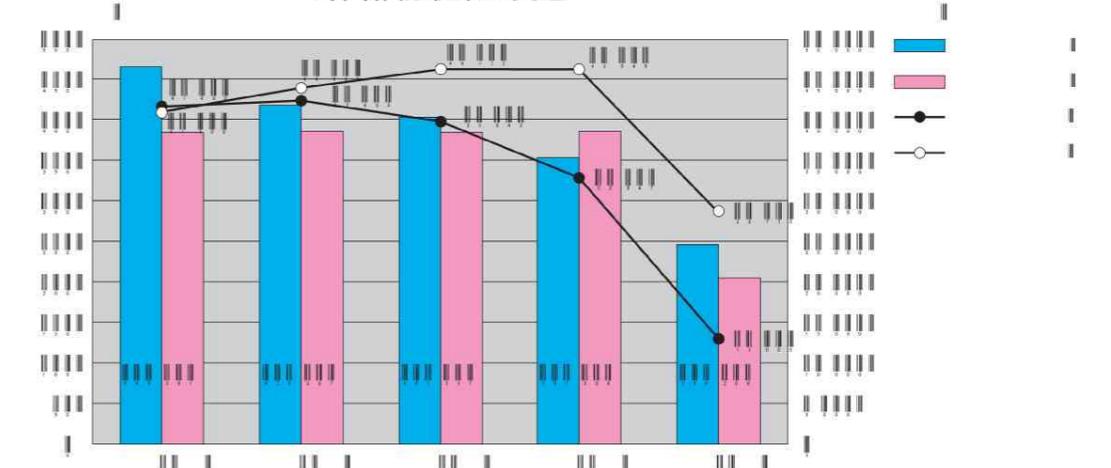
- ① 外国雑誌の冊子体の経費は従来どおり各部局等で対応する。
- ② 電子ジャーナル経費の不足分は、学長裁量経費と各学部の拠出金で補填する。ただし、学長裁量経費は平成15年度旧両大学の学長裁量経費実績の合計相当額とする。平成17年度以降の電子ジャーナル整備計画

については、以上のことからi)電子ジャーナルの安定的提供のために経費の在り方の方策,ii)厳しい財政状況を踏まえ、全キャンパスで共通に電子ジャーナルを利用できるコレクションの選定、この2点を重点課題として平成16年度事業計画に引き継ぐこととなりました。

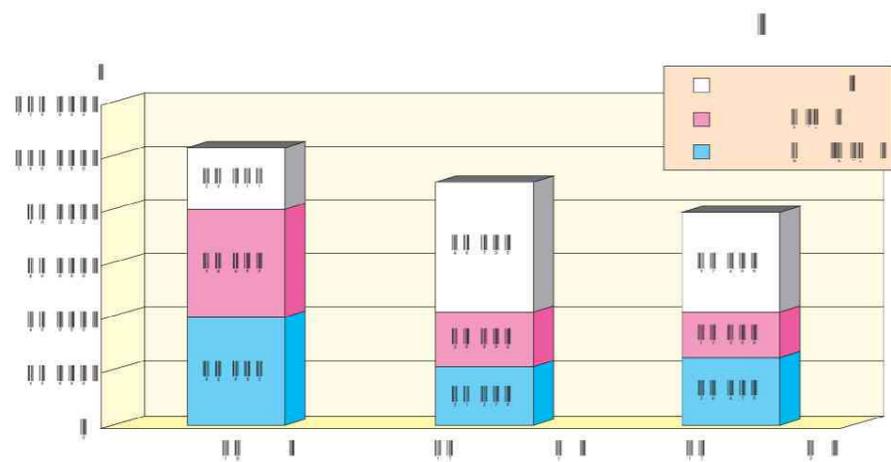
### 3. 電子ジャーナルの安定的提供に向けて

電子ジャーナルは冊子体の雑誌と異なり、本学の構成員であれば全学のどこからでも24時間いつでも自由に利用でき、その迅速性、利便性の高さを考えますと、文字どおり大学全体の知的共有資源といえます。しかし、その電子ジャーナルの殆どの契約は、出版社ごとにまとまったコレクションとして提供されており、従来の購入冊子体(もしくは購読費)を維持することが、電子ジャーナルを継続的に利用する条件となっております。つまり、電子ジャーナルの関連冊子体を解約すると、関連冊子体の解約額のほぼ同額が電子ジャーナル経費に上積みされ、電子ジャーナル経費と関連冊子体経費の和はほぼ一定となるような関係にあります。

外国雑誌収集の変遷



平成17年の数値は、各キャンパスにおける平成17年度外国雑誌購読調査結果(平成16年5~7月実施)による。



- ・ 冊子体 E-J): 電子ジャーナル関連冊子体経費, 冊子体 Non-J): 電子ジャーナルに関連しない冊子体経費
- ・ 平成17年度(算定1)の電子ジャーナル経費は, 表の平成16年度の電子ジャーナル5,897タイトルを全キャンパスで利用できることを条件に算定している。
- ・ 平成17年度(算定2)は, 表の平成17年度整備予定の算定額

(図1)は本学の雑誌収集の変遷を示していますが,平成17年は冊子体全体で約3800万円の解約となり,そのうち電子ジャーナル関連冊子体が約1900万円を占めるに至り,平成17年度の電子ジャーナル経費が平成16年度の2倍強の約4900万という結果になりました(図2)。このため,外国雑誌購読経費を主として部局等の研究費に負うような従来の予算の枠組みでは,電子ジャーナルを安定的・継続的に提供することができなくなってきました。

この解決策のために第1回附属図書館運営委員会(平成16年5月開催)で「電子ジャーナル及び学術雑誌整備基本方針」を策定し,その中で「電子ジャーナル経費は,全学共同利用の観点から,また安定的・継続的な収集のため,必要経費を共通経費化し財源を確保する。」とし,関係各方面に働きかけてきました。第2回財務・施設委員会(平成16年10月開催)においても,「電子ジャーナル経費の取扱いについて」として審議され,電子ジャーナルに関する経費の共通経費化について大学当局の基本的な理解が得られ,現在,平成17年度予算案の中で検討されています。

電子ジャーナルの普及にはまだ日が浅く,現状では価格の設定やサービスの内容等によ

り不安定要素が多く,導入にあたっては,経費の負担方法及び購読タイトルの選定等,多くの課題に取り組まなければなりません。平成17年度の電子ジャーナルの選定にあたっては,財政的状況が大きな要因としてありましたが,上述したことなどもWileyとBlackwellを中止せざるを得なかった理由です。結果的には平成17年度において提供する電子ジャーナルのタイトル数は,約6,000タイトルから約5,000タイトルへ縮減されることになりました。

しかし厳しい現況ながら,平成17年度から電子ジャーナルに関する経費が共通経費として予算化されることは,電子ジャーナルを安定的・継続的に提供できる礎ができたということでも大きな意義を持っています。これを機に,電子ジャーナルを中心とした全学共同利用のための方策を確立する必要があります。そのためにも,全学の構成員におきましては,電子ジャーナルの優れた機能性を広く利活用していただくことはもとより,いろいろなご意見等を図書館にお寄せ願います。そういったことが,全学的な合意形成を進めていくためにも大切なことです。

(にしやま・つねきよ 学術情報課長)

《この本をお勧めします》

たまには寝たきりになるのもいいもんだ

三好修一郎

たとえば大ベストセラーになった『世界の中心で,愛をさけぶ』を読んで,柴咲コウさんみたいに「泣きながら一気に読みました」と語る正直者中にはいるでしょうが,大概是泣きながら読んでしまった自分に恥ずかしくなって,「読んだけど,ん,まあね」と言葉濁すんじゃないでしょうか。

求めに応じて「お勧めの本」なんぞを紹介するというのは一士俵の上で「感動した!」なんて叫ぶ人もいますが一照れくさいものです。困り果てたとき,腰痛が再発して寝たきり老人と化しました。傍らを見たら,ずっと置きっぱなしになっていた『ダ・ヴィンチ・コード』上・下巻がありました。



そもそも読みもしない同本をどうして買う気になったかという点,作家で精神科医のなだいなだ氏のエッセーを読んだからです。

医学部に進学したいという二百人ばかりの若者に話をした折「今,

世界的な大ベストセラーになっている『ダ・ヴィンチ・コード』を読んだ人はどれくらいいる?」と手を上げてもらったそうです。ところが,手は一つも挙がらず,氏はすっかり考え込んでしまったとのこと。時間の余裕というより気持ちの余裕がないのだろうというのが氏の憶測ですが,まだ読んでいなかった私は,自分のことも言い当てられたような気がして買ったのです。

怪我の功名とはよく言ったもので,のっけ

から,はまってしまいました。冒頭に「事実」と断り書きして,作中に登場するシオン修道会という秘密結社(総長にニュートン,ポッティチェリ,ユゴー,ダ・ヴィンチなどがある)やヴァチカンに認可されたオプス・デイという敬虔なカトリックの一宗派の紹介がされ,文書や秘密儀式に関する記述は全て事実に基づいているとあります。ノンフィクションとフィクションのドッキング?

むむって思いながら読み始めると,「プロローグ」でいきなりルーブル美術館館長ソニエール(実は,シオン修道会の現総長)が殺されてしまいます。修道会が伝えてきた秘密(それは,キリスト教会が過去二千年にわたって隠し続けてきた秘密でもある)は,今や永遠に失われようとしています。絶命までの十数分間,ソニエールはあらんかぎりの気力と体力と知力をふり絞り,その秘密を伝えようとします。謎に満ち満ちた暗号を用いて。でも,それは,これから始まる暗号解読の長旅の幕開けに過ぎませんでした。

しかも,その旅は,知的ハードボイルドのラングドン教授と魅力的なパリジェンヌのソフィー暗号解読官(ソニエールの孫)のスリリングなラブ・ロマンスでもあるわけで,しっかり私はラングドン教授になって長旅を満喫することになったのです。

その間,ヴァチカンやキリスト教会への根底的な批判(何たる勇氣!)の流れの中で,鍵を握る最重要人物である「導師」が一体誰なのか分からないままに物語は進んでいきます。私は腰が痛いことも日が暮れたことも忘れて本の世界に没入しました。

と、ところがですね、終末部でついに「導師」の正体分かるに及んでガクッときました。な一ぜ？ それは言いません。少なくとも二、三日は、私の無聊の日々を薔薇色にしてくれたのですから、最後に裏切られても、「素晴らしい思い出をありがとう」とクールに言ってみようという、あれですね。

ともあれ、大学とてもネズミを捕らない猫

では生き延びていけないとばかり生産性を求められるご時世ですが、寝たきりという非生産的な状況に置かせることで、私は俗世のしがらみから解放され、及びもつかなかった世界を遊泳することができました。これも、読書の効用の一つかもしれません。

(みよし・しゅういちろう 附属図書館運営委員)

## 「ゲノム・生命・いのちを考えてみよう」 —ふたりの女性生命科学者、“桂子”博士の生き方をとおして—

犬塚 學

生きものはみな、生まれ、育ち、老い、死んで行くという時間を紡いでいます。皆さんのように、この時空間の中で、いちばん輝いている時に、ちょっと立ち止まって、「生命・いのち」について考えてみるのは如何でしょうか。

ここに紹介するのは、遺伝学者、分子生物学者である2人の女性生命科学者、“桂子”博士が、それぞれのこれまでの自分の生き方、生き様をとおして、いのち・生命とは何か？ 生きているということとは？ について書いた本です。私自身、遺伝学会や分子生物学会で一緒だったり、あるいは同じ恩師の門下生だったりして、2人の生き方をより身じかに感じる一人でもあります。



まずは、中村桂子著「ゲノムが語る生命—新しい知の創出」集英社新書0270(2004.11)です。2004年10月のヒトゲノム解析の完成版で、私達の遺伝子は約2.2万個と報告されました。これは、フグや

マウスからヒトに至る脊椎動物の遺伝子数がほぼ同じであり、わずかな機能と組合せの違いがこれら生物種の違いに反映されることを示唆しています。このように、生命科学が飛躍的に発展する中で、生命誌研究館館長としても大活躍の著者が、生命の時代といわれる21世紀の「ライフサイエンス研究の在り方」を、また、「生きていることはどういうことなの？」を捉え直すことの素晴らしさを、30数年の研究者としての体験を通じて語りかけてくれます。例えば、「変わる」という第1章では、科学と技術の違いや科学技術を人間に合わせる重要性を説き、生命科学研究の医療、産業、社会との関わりなどから、科学革命を提案し、学生だけでなく教員にも大きな示唆を与えてくれます。また、「愛づる」の章では、平安時代の短編集「堤中納言物語」の中の「虫愛づる姫君」を取り上げ、“人びとは花や蝶は美しいものと褒めたたえるけれど、実は蝶になるもとは毛虫。ここにこそすべての基本があるのではありませんか”。“見たところが美しいから可愛がるのではなく、対象をよく見てその本質を考える、これが愛であるということです”。はっと考えさせられ

ます。人間の本质や生き方を知るためにも人間を愛でることが先ず必要ではないでしょうか。また、“ヒトを含め、「DNAは変化しその変化を次世代に伝えること」、この積み重ねが生物のゲノムです。”これは、私達一人一人が、38億年前に地球上に生き物として登場して以来、人類として500万年、現代人として20万年という長い時間の中で、とぎれることなくそのDNAが複製され続けて生まれたことを意味しています。この長い歴史を背負った一人の人のいのちは、生命の流れからも、かけがえなく尊いものだと思います。わたしのいのち、あなたのいのち、いずれの生き物のいのちもおそろかにできませんね。



同じ中村桂子ら訳の「やわらかな遺伝子」(紀伊國屋書店 2004.5)も非常に面白い。原題 Nature via Nurture (生まれは育ちを通して)に見られるように、ヒトゲノムが解析されている今、“生まれか育ちか(Nature vs Nurture)”に決着を付けた新しい人間観を、多くの例を基に指し示してくれています。

さて、2人目の桂子、柳沢桂子著「癒されて生きる—女性生命科学者の心の旅路」(岩波書店、岩波現代文庫(2004.3))についても触れましょう。中村博士と同じ生命科学研究所で、マウスの発生などの研究をしていた著



者は、30年前、突然、原因不明の病気にかかり、激しい痛みや入院の繰返しにより失職し、研究者を断念しなければならなくなりました。その後、25年もの間、毎月繰り返される発作にも、検査値に

なんら異常がないとのことで、病気の診断名\*も付けてもらえず、ただ、「心因性」と冷たく片付けられた。しかし、心療内科などでは心の問題ではないと言われ、医療スタッフのたび重なる科学的でない言動に、医師も病院も信ずることが出来なくなっていった。その上、一日中ベッドで身を横たえて過ごし、一歩も歩くことも出来なくなった。ところが、患者の訴えをじっくり聞いてくれる素晴らしい開業医と看護師に巡り会い、柳沢博士はその中でいかにして癒され、生き甲斐を見いだすことができるようになったかを書いてくれています。人生の暗さを知っている著者であるからこそ、“苦しさはそのひとの心の中にあるもので、外から与えられるものではなく、心の持ち方一つで明るく変えられる”という言葉はずっしりと重く感ぜられます。私達はみんないつか予期せぬできごとで遭うかもしれません。今、我が身に置き換えて考えてみても、もし、病気により自分の愛する仕事/学業を断念させられた無念さ、人を信ずることが出来なくなった悲しさ、孤独などに陥ったら、どのようにして開放され、「癒されて生きる」の心境になれるのかと心配になります。その答えのいくつかを書きの中で与えてくれています(\*多発性硬化症に類似する全身性、進行性、難治性の神経疾患と判明)。

(参照：柳沢桂子「宇宙の底で—いのちは誰のものなのか」朝日新聞、2005.1.11)

(いぬづか・まなぶ 附属図書館運営委員)

## もう一度「ゼロから学ぶ」ための本

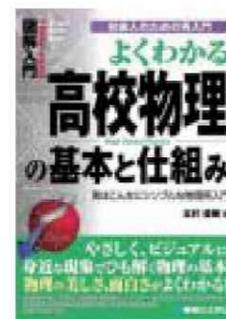
田上 秀一

日頃お世話になっている図書館の方から、「教員、学生問わずお勧めの本をご紹介下さい」という内容で一筆書いてほしい旨の依頼があった。元来、好んで本を読む方ではないため、恥ずかしいことにお勧めの本がぱっと頭に浮かんでこない。そこで、本稿では書店で目に付いた本をお勧めの本として挙げさせて頂くことで、話を進めさせて頂きたい。

お勧めの本としてよく出てくる本といえば、例えば文学小説、ドキュメンタリーなど、いわゆる読んでためになる本となるだろう。ただ、書店に行くと、職業柄どうしても学術めいた本へ関心が向く。最近、「よくわかる」「ゼロから学ぶ」などのタイトルをつけ、ビジュアル的にわかりやすくまとめた学術書が増えてきた印象を受ける。数えればきりが無いが、例えば講談社から出版されている「ゼロから学ぶ」シリーズと「なっとくする」シリーズ(写真は都筑卓司著「ゼロから学ぶ力学」)、日本実業出版社から出版されている「入門ビジュアルサイエンス」シリーズ(写真は小暮陽三著「物理のしくみ」)などが挙げられよう。ざっくりと乱読した感じでは、いずれの本も初学者にとって比較的入り込み

やすく書いてある印象を受ける。とくに「入門ビジュアルサイエンス」シリーズは、文字だけでは説明するには難しい様々の高度な内容について、豊富な絵を使って、平易な文章で解説がなされている。最近の高校や中学で使用されている教科書をひもとく機会があった。絵本みたいだとよく耳にするが、確かにカラフルな絵が多用されており、文字ばかりの専門書よりもずいぶん理解しやすいなあと感心したことを覚えている。その流れが、このような学術的な内容を扱った本にも見られるようになったのだろう。

また、一般向けに高校で扱った内容を平易にまとめなおした本も目に付く。そのひとつが、秀和システムから出版されている北村俊樹著の「よくわかる高校物理の基本と仕組み」



である。これは、高校の教員である著者が高校で扱う物理について、わかりやすくまとめたものである。このような本はいくつか出版されており、高校で勉強した内容を再復習したい方、高校生の頃に高校で勉強した内容をちょっと確かめたい方にとっては適した本であろう。

以上挙げさせてもらった本は、いずれも表題にある「もう一度「ゼロから学ぶ」ための本」である。これらの本は、大昔に高校や大学で習った内容の復習や難しい学術内容を学ぶ第一歩だけではなく、今受講している講義内容のフォローにも十分役にたつだろう。小生が所属する学科は、二次入試では化学と物

理どちらかを選択すればよいと、物理と化学のどちらか片方は高校卒業程度の学力が備わっていない学生が見受けられる。我々の学科での研究内容や講義内容をフォローするには、どうしても化学と物理の両方について、少なくとも高校卒業程度の学力がなければ、講義の単位が取れないなどの弊害が出てくる。そのため、我々の学科では、高校卒業レベルの物理と化学について、演習形式で復習できる機会を1年前期に設けてあるが、残念ながらついていけない学生がいると聞く。今回挙げさせてもらった本は、そういった方々への何らかの助けになるのではないかと思う。

物事を理解する過程は人によって異なるので、どのような説明がわかりやすいか、どのような本がわかりやすいかは、人によって違うだろう。そのため、一つの本を読んでわからなければ、他の似たような別の本に目を通してみることも併せておすすめする。たとえ内容は同じであっても、それが自分にとってわかりやすい記述、絵、イラストが盛り込まれている本であれば、今まで理解できなかった内容が手の内に入れることができ、自分のスキルアップにつながる。本が高くていろいろ買えないときには、是非図書館を覗いてみましょう。(たのうえ・しゅういち 附属図書館運営委員)

《後輩への推薦書》—大学院生から学部学生へ—

## 後輩に勧めるこの一冊

—藤原定家「文集百首」の比較文学的研究—

趙 璣

比較文学が新たな研究方法として、力強い生命力を見せている。日本における漢文学の世界においても国文学の世界においても、比較研究という視点には、現在種々の変化・深化が見られ、日本漢文学の研究をさらに深遠で多様な方向に導いている。

日本と「一衣帯水の隣国」と称される中国からやってきた私は、平安時代、寛平六年(八九四)に、句題(漢詩の一句を題とすること)を和歌に訳して両者を並記するという形式によって成立した『句題和歌』に着目し、比較研究という方法を用いて、編者である大江千里の作歌方法を探っている。この研究を進める中で、雋雪艶著『藤原定家「文集百首」の比較文学的研究』(汲古書院 平成十四年

二月)に大きな啓発を受けており、この機会にぜひ後輩にこの一冊を紹介したいと思う。



本書は、一二一八年に成立した藤原定家「文集百首」をめぐって、白居易と日本文学の関係を論じた研究書である。「文集百首」とは、平安時代に日本に伝来した白居易の詩文集

『白氏文集』から詩句を選び出し、これを百首の和歌に詠んだもの。つまり、和歌による漢詩の翻訳である。本書は五章で構成される。第一章、「文集百首」を産出した文化的・歴史的土壌では、「文集百首」成立の歴史的背



景をめぐって、平安時代及び中世における白居易受容の変遷を論じ、第二章から第五章までは、「文集百首」にみえる自然観・恋の感情・隠遁思想・佛教思想について、計五十首の具体例を取り上げ、一句ずつ句題詩と和歌との各々の表現を対比しながら丁寧な分析を行う。これらの分析を通して、白居易受容の特徴や白居易詩と定家詠における中国と日本それぞれの民族の感情・美意識・価値観・中隠思想に関する本質的な相違について論じる。この方法は、「相似点や影響」に関する研究が主流であった従来の研究に比べて異質であり、きわめて貴重なものと言える。

「雫雪艶さんの長年にわたる苦心の結晶」(蜂屋邦夫氏の序文)、と称される本書の大き

な特色は、五十首の句題和歌について原拠となる白居易の詩を引きつつ詳細な解釈と分析を行っていることである。これは、和歌は難しい、漢詩は異国の言葉で書かれているからさらに難しい、と感じる学生にとって、大変有用である。初心者でも、唐代の大詩人である白居易の名句を楽しむことができる一方で、その句題によって詠まれた和歌をも楽しむことができる。漢文と和歌との文法を忘れた人でも、この一冊によって忘れた記憶を蘇らせるであろうし、和歌や漢詩、あるいは比較文学を研究しようと思う学生も、この本から大きな啓発を受けるに違いない。

(ちょう・あい 教育学研究科)

## 本で「心の豊かさ」を養う

梶谷 宇

私は4年前に旧福井医科大学の大学院生としてこちらに来て以来、殆ど毎日研究活動に没頭するといった毎日で、読む本は専門書か学術雑誌、それと息抜きにファッション誌やエンターテインメント系の本を読む程度なものです。こんな私が、果たして本の紹介などしてもよいものかと少々戸惑ってはおりますが、高校生や大学生の頃は、文庫本で色々な作品を読み、影響を受けてきた面も多々ありますので、その中からいくつかご紹介させていただきます。

まずは、坂口安吾著「墮落論」です。これは角川文庫版、新潮文庫版と出ており、それぞれ評論、随筆が多数収録されています。著者が活躍した時代は戦中・戦後の混乱期ですからもう60年も前ということになりますが、その秀逸な言葉達のひとつひとつは、未だに色あせておらず、表題作「墮落論」以外



にも「日本文化私観」「恋愛論」等、神話の時代にまでさかのぼった古典から、宮本武蔵、そして著者と同年代を生きた太宰治に至るまで、実に多様な対象に取材しながら、既存の倫理観を明確に否定し、戦後の混乱期に生きる若者達に新たな指標を提示することで絶大な支持を得た評論の数々は、同じく混沌とした現代に生きる我々若者(私は28歳ですが、まだまだ若者のつもりです)にもきっと共感できる部分が多いと思います。これまでの価値観を否定しながら、独自の新たな考え

方を提起してきた著者の評論ですから、当然読む側も独自の視点で、独自の感性で読み味わっていただきたいと思います(これは本書に限らず全ての本に関してそうだと私は思うのですが)、そうして得たものが後の人生の糧として、心を豊かにしていくのではないかと思います。私が特に共感したのは、「恋愛論」の最後を締めくくる一言、「恋愛は、人生の花であります。いかに退屈であろうとも、このほかに花はない。」やはり、子供の頃から死ぬまでずっと、誰かに恋し、誰かを愛すという気持ちは人間誰しも続くわけですし、それによって人間性の豊かさというものが育まれていくのだという意見には納得しきりでした。特に学生のみなさんにとっては、確かに退屈で、下らないことであっても、恋愛というのは勉強と同等に(それ以上かも知れませんが)重大な事であろうかと思います。

そんな恋愛に関する参考書ともなるのが山田詠美著「ぼくは勉強ができない」「放課後の音符」の2冊です。前者は男子高校生の、後者は女子高校生の視線から書かれた短編小説集ですが、この2冊にも、恋愛はもちろん、先ほどの「墮落論」と同様「生きること」そ

のものに役立つヒントが数多く散りばめられていると思います。

どちらも高校生の生活が描かれていますのでやや内容が幼稚なのでは、と思われるかも知れませんが、実際読み進めると、成人をとうに過ぎた自分でも、なるほどなあと思ってしまうような考え方に次々と触れることができます。勉強も大事だけど、恋や友情にうつつを抜かすことも、人間性を豊かにしていく上でもとても重要なことなのだという著者のメッセージがストレートに伝わる作品です。

大学を卒業されるとみなさんは何らかの仕事に就かれることと思いますが、どんな仕事であれ(仕事でなくても学業でもそうですが)それを行うのは「人」である以上、行っていくためには、知識や技術の他に、「人間性の豊かさ」というものも要求されるのでは、と私は考えています。そのために、色々な人と付き合い、色々な場所へ出かけて行って心の栄養を蓄えることは大切だと思いますし、その心の豊かさを培う道具のひとつとして「本」も挙げられると思います。大学に入った以上はやはり「学業」を充実させることが最優先かとは思いますが、学生時代という貴重な時間の間に、時間の無駄遣いをしながら心を豊かにしていくといったことにも目を向けていくと、より一層実りのある学生生活を送っていけるのではないかと思います。

私のこの拙い紹介文が、みなさんが新たな本と出会い、心を豊かにしていくことへの手助けとなれば幸いです。

(かじたに・たかし 医学系研究科)



## 🍀 おすすめの本: ベスト パート ナーになるために

河原 林 友 美

1



「どれか1冊だけ本を持って入学当時に戻れるよ。さあどれにする？」と言われてたら迷わずこの本を選ぶ。きっと人生変わってたはずだ。

受験勉強から解放されて、サークルとか部活と

か趣味とかいろいろ新しいことにチャレンジしたいけど、大学に入ったらやっぱり、新しい出会いがたくさんあるし、彼氏、彼女を作りたいよね？顔が広くてコンパやりまくりのヤツは別として、普通は出会いは1年、2年生がピークで、3年生ではもう出会ってしまって学内には候補がいなくなる。そうなのだ、出会いの期間は案外短い。そして、失敗はできるかぎり避けたい。

失敗の中でも最悪なのが、相手のためにやってきたことがアダになるケース。「気に入った相手にそれとなく好意を伝えるつもりだったのに嫌われてしまった。」とか、「それが元で彼氏とケンカになった。」とか、何でえ〜!?ってことなかった？何がアダか、どうしてアダなのか、何で傷つけたのか、何でケンカになるのか分析してくれる本はごまんとある。でも、この本はそれに加えてどうしたら、お互いにうまく相手のことを思いやった行動ができるか具体的に教えてくれるのだ。それから、「相手がこんなこともしてくれない。思いやりを感じない。ああ、これはもうきつと終わりだ。」と思った事がない？ちょ〜と待ったあ！それは思い込みみただよ。そういうときに、男女では考えや行動が違うか

ら諦めましょうって本が大半なんだけど、この本はどう頼んだら相手に望みの行動をしてもらえるか教えてくれるのだ。私や口から鱗がポロポロ落ちたよ。

かくいう私は、『こんなときあなたは試されている』のやってはいけないことの90%はやってました。それも良かれと思って。ああ、もう本当にゴメンナサイ。私が悪い御座居ました。ダメな原因が分かりました。余計な口や手を出しすぎました。感謝が足りませんでした。心を入れ換えて修行致します。」と、懺悔の気持ちで一杯。

私のことはさておき、相手の心境や思考の分析もさることながら、こんな具体的にどう行動したら良いか書いてある本は無い。これで、彼氏、彼女をガッチシ、ゲットして下さい。それが結局は人間的成長を促し、学問にも身が入るといふものです。

ちなみに、この本は夫婦とかカップル用なんだけど、これからって云う人や、あと、親、兄弟姉妹、友達、身の回りの異性にも十分応用可能と見た。

最後になったけど、実はあと2冊ほど持って戻りたい本があったりする。今は読まなくとも良いけれど、五月病になったり、何かを

2



3



がむしやりにやってヌケガラになったときに読むと下手な友達よりよっぽど効くと思う。男子には「7つの習慣」、女子には「夢ノート」のつかいかた。結構持ち直す。

それから、読んでへえと思った事は、一つで良いからちょっとやってみる。これ結構重要。思ったより簡単に世界を変えられる。

さあ頑張れ！思いっきりやれ！君達の未来は明るい。

(かわらばやし・ともみ 工学研究科)

- 1 ジョン・グレイ 著), 大島 濱 (翻訳), 三笠書房; ISBN: 4837971768
- 2 スティーブン・R.コヴィー(著), 川西 茂 (翻訳), キングペーパー出版; ISBN: 4906638015
- 3 中山 庸丞 (著), 三笠書房; ISBN: 4837960294

### 《 図書館員の声》

## 図書館の思い出

塩 崎 睦 子

このたび、平成17年3月で定年退職により昭和38年4月に大学に採用されてから42年間の公務員生活に終止符を打つことになりました。

昭和41年に現図書館が新設されるまでは、旧図書館は現在の保健センター辺りに木造2階建ての閲覧室・館長室・事務室、現事務局あたりに重厚な建物の旧講堂があり、閲覧室・書庫として使われていました。2階建ての閲覧室・事務室等の建物と旧講堂の間には、渡り廊下があり、ちょうどその中間に別棟のトイレの建物がありましたが、その付近の草むらには、蛇がよく出没しました。職員自転車のサドルではなく、ハンドルに横たわっていたこともあり、目がものすごく悪いくせに、なぜかよく見つけてはどうか、目にはいるというか、夏の暑い日なんかは、特に気をはって歩いたものでした。ここ2~3年、現図書館の職員玄関で蛇がひなたぼっこをしているのを、何人かの職員が目撃しており蛇の寿命がどのくらいなのかわかりませんが、わたしが以前見た、蛇の子孫の何代目かもしれない感じがしていて、お目にかかりたいような、会いたくないような・・・

1960年代の私のしていた仕事は、目録カードを作成するのに、分類・書名・著者カード等7~8枚を原紙にガリ版で書き、カード専用の謄写版で印刷するのですが、手は汚すし、着ているブラウスの前の方は、目にはみえないぐらいの小さいつぶつぶが、霧のようにはじいた跡がついて洗濯しても取れなくて困ったものでした。また、柘植の木で出来た5cm四方角ぐらいの蔵書印を一冊一冊標題紙の上から3分の1位の位置に押印するのも仕事のひとつでした。これも単純作業ですが、慣れるまでは、結構力加減とか、大事な文字などにかからないようすとか、印が大きいので角の方が欠けないようにとかいったコツがいくつもあったように思います。また、カードの排列も重要な仕事で分類は数字、書名・著者名はアルファベット・あいうえお順と単純な作業ながらひとつ間違えると本が探し出せないという根気と忍耐がいる仕事でした。

それが、現在では、手書きのカードを作成していたころには、夢のような話が現実になって、コンピュータに向かっての入力作業で、カードレスのOPAC(On-line Public Access

Catalog)で図書館内ではもちろん、研究室からあるいは自宅から本学で所蔵している蔵書を検索することが可能で、パソコンの前に座れば、「当たるも八卦当たらぬも八卦」で本学図書館の蔵書検索はもちろん、本学図書館に所蔵されていなかったら、全国の大学図書館の所蔵状況も寸時にわかり、以前は、他大学への文献複写・相互貸借依頼も郵送で行われていましたが、現在はWeb上で申し込みが可能となっています。又、図書館の書庫の中の隅にあって誰の目にもふれなかったような資料にも、メディアの画像化や遡及入力によりやっと日の目をみるような地味な仕事

も取り組まれています。

これからも、新しい資料・古い資料も含めて、多様なメディアを使いこなして、大学図書館の機能を生かし、教育・研究の支援を促進し、大学の中心の「要」として更なる発展をお祈りしております。

図書館の急速な電子化になかなかついていけず、皆さんの足手まといだったわたしが、どうにか無事に勤め上げることができたのも、図書館の家庭的な雰囲気と皆さんの支えがあったからです。

本当に長い間お世話になりました。

(しおざき・むつこ 雑誌情報係長)

## 図書館に行こう ～本も探そう～

栃川 仁美

人に“〇〇って本おもしろかったよ”と薦められたとき、雑誌を見ていて読んでみようかなと思ったとき、漠然と××のことが書いてある本を探すとき、好きな著者の本を探すとき・・・など、本を探すいろんな機会があると思います。

こんなとき、あなたならどうやって目的の本を探しますか？

1. 書店へ行って探す
2. 図書館を利用して探す
3. インターネットのホームページで探す

など、いろいろな方法で探すことがあると思いますが、ここでは図書館を利用して本を探す場合について述べたいと思います。

図書館で本を探す場合には、次の4つのことを知っていると比較的に目的の本を探すことが可能になります。

1. 本の配置場所を知る
2. 本の並び方を知る
3. 蔵書検索システムを知る
4. インターネット検索を知る

### 1. 本の配置場所

まずは、館内の案内図などで、どのようなところにどのような本があるかを知っておくとよいと思います。

医学図書館 …案内図はカウンターにおいてあります…

- 1階・・・検索コーナー  
雑誌閲覧室(新着雑誌, 1987年以降の雑誌バックナンバー)
- 2階・・・図書閲覧室(専門書, 一般教養図書, 1986年以前の雑誌バックナンバー)  
参考図書室(辞書や百科事典, 視聴覚コーナー, 国家試験の問題集のコーナー)  
ブラウジングコーナー(教養雑誌, 図書, 新聞)

総合図書館 …案内図は図書館入口にあります…

- 1階・・・ホール, 情報検索コーナー, 郷土資料室, 視聴覚室
  - 2階・・・第一閲覧室(統計書・二次資料コーナー, 雑誌コーナー, マルチメディアコーナー)  
特殊資料室(コレクションなどの貴重資料)
  - 3階・・・第二閲覧室(専門図書・一般教養図書)  
参考図書室(辞書・百科事典など)
- 書庫・・・図書・雑誌ほか

### 2. 本の並べ方

次に本の並べ方を知っておくことも重要です。図書は分類ごとに分けられて書架に並んでいます。福井大学では下表のとおり分類法を使っています。

医学図書館	医学系図書	米国国立医学図書館分類法 (NLMC)	QS-QZ, W, WA-WZ
	生物・植物・動物学図書	米国議会図書館分類法 (LCC)	QH, QK, QL
	一般教育関連図書	日本十進分類法 (NDC)	000-459, 500-999
総合図書館	全蔵書	日本十進分類法 (NDC)	000-999

分類は主題に基づいてつけられています。本はそれをもとに書架に順番に並んでいます。本の背表紙に下のようなラベルが貼ってあります。一番上の段が分類です。

WS	433
150	
2003	2004

たとえば、医学図書館では小児科学の分類であるWSという分類の場所へ行くと、小児科関係の本が並んでいます。分類をおおまかに知っていると、あるテーマの本を探したいときに、“書架のあそこここを見てみるといいかな”と頭に浮かんでくるのではないかと思いますし、蔵書検索をしたときにも役にたつと思います。

### 3. 蔵書検索システム

もし、目的とする本について何らかの手がかりを知っている場合は、蔵書検索システムを利用すると早く見つけることができます。これは書名・著者・出版社、また主題等の

Keyword, また, ISBN等で検索できます。Keywordは書名や著者, その他その本について入力した書誌情報から細かく切り出されています。検索欄に漢字, カタカナ, ひらがなで検索語をいれてください。そのKeywordに関係した本・雑誌の書誌と所蔵が検索されてきます。例えば, 医学図書館の場合, 蔵書検索はWebページの医学図書館オンライン目録というところで行えます。(詳しいマニュアルはWebページにありますので見てください。)これによって, 医学図書館, または福井大学松岡キャンパス内にある図書について, 本があるかないか, あったときは学内のどこにあるか, また, 図書館のどこにあるかという情報が配架場所と分類というかたちで示されます。

#### 4. インターネット検索を知る

蔵書検索システムで探しても目的の本がなかったら, インターネットで探してみよう。下に, 私がよく使うものを紹介したいと思います。

- ・ 国立情報学研究所のWebcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>)  
全国の大学図書館等が所蔵している図書・雑誌を検索することができます。
- ・ Webcat Plus (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)  
Web-catのデータに加えて, トーハン, 日本出版販売, 日外アソシエーツ, 紀伊国屋書店などのBookデータを加えたものです。検索結果にはタイトル, 著者などの基本情報のほかに, 目次情報, 紹介文などもあり, 所蔵館も表示されます。
- ・ ブックポータル (<http://www.trc.co.jp/trc-japa/>)  
TRC図書流通センター作成の書籍データベース
- ・ Books (<http://www.books.or.jp/>)  
日本書籍出版作成の書籍データベース
- ・ 国立国会図書館蔵書検索 (<http://opac.ndl.go.jp/>)  
国立国会図書館所蔵のオンライン目録
- ・ Amazon (<http://amazon.co.jp/>)
- ・ 丸善 (<http://www.maruzen.co.jp/>)
- ・ 紀伊国屋書店BookWeb (<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>)

上記のほかにも, 国内・海外の図書館のオンライン目録, 出版社や書店のホームページがたくさんあると思います。たくさんの情報がインターネット上から得られます。これをうまく活用することが大事だと思います。

目的とする本を探すとき, ただ漠然と書籍を探すと大変な時間と労力がかかります。効率よく探すためには, 先生や先輩などから情報を得たり, 雑誌やインターネットなどから情報を得るようにして, 自分が探している書籍を明確にしておく必要があります。そして, 図書館の上手な利用方法を知れば, 簡単に見つけることができます。

でも, 図書館には他の楽しみもあります。ウィンドウショッピングを楽しむようにぶらぶらと館内を歩き回することで, 「こんな本があるんだ」「これはおもしろそうだな」という新たな発見をすることです。私はゆったりと図書館でたまに過ごすのもいいと思います。そういませんか?

(とちかわ・ひとみ 整理係)

## お知らせ

カウンターで手続きを済まされた後, 図書の借用, 資料全般の閲覧・複写(学外文献複写は除く), 情報検索用パソコンをご利用になれます。また, 図書館を利用する際の疑問など, いろいろなご相談にも応じます。

原則, 以下の条件で図書を借りることができます。(詳細はカウンターでお問合せ下さい。)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学卒業生</li> <li>・ 本学元教職員</li> <li>・ 福井市に居住しているか, 勤務している方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学卒業生</li> <li>・ 本学元教職員</li> <li>・ 関連病院職員</li> <li>・ 本学附属病院の入院患者さん及び付き添いの方</li> </ul>
	図書のみ (元教職員と卒業生は本学教職員・学生に準じる。)	図書のみ (期限の延長は不可)
	写真及び現住所等の表示がある証明書	
	登録した年度の3月31日	

総合図書館は工学部学生育成会, 医学図書館は医学部後援会から援助をいただき, 学生用図書等を選定し, それぞれの図書館に備え付けさせていただきました。これらの図書は有効に活用させていただきます。